



ふれあい 放水路

1999
(平成11年)
第65号
8月



▲古志まつりで演奏する子供の部「やまびこ」

神戸川太鼓

男性的で勇壮な演奏で知られている神戸川太鼓は、昭和六二年、地域の新しい文化づくりを目指して、若者を中心に結成されました。大梶七兵衛の業績をテーマとした代表作「七兵衛太鼓」をはじめ、数々の創作曲で人々を魅了しています。

現在メンバーは、大人の部と子供の部「やまびこ」を合わせ、七十人近くにもなっています。年間七十公演をこなし、その活動範囲は県内に止どまらず、広く県外にまで及んでいます。

和太鼓と言えば何といっても、体の芯まで響いてくるような力強い音。その響きを出すには、かなりの体力が必要になってくるのですが、他の楽器では出せない趣や、迫力を表現できるのも、和太鼓ならではの魅力ではないでしょうか。

神戸川太鼓は来年で十五周年、子供の部は十周年と節目の年に当たするため、大きなイベントを予定しているという事です。今後の活躍にも期待したいものです。

新しい妙見橋のイメージ図



※実際の橋はイメージとことなることがあります。

新妙見橋の橋脚の基礎杭の作り方

～排出土量の少ない鋼管ソイルセメント杭工法～

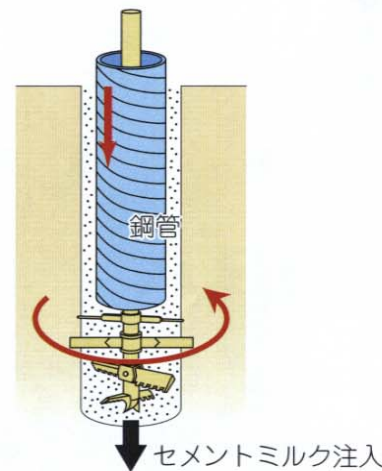
新妙見橋の橋脚と橋台を支える基礎杭は、土木の分野では新しい工法でつくっています。今回はその施工の様子・手順について紹介します。

今回は、鋼管ソイルセメント杭工法で行いました。

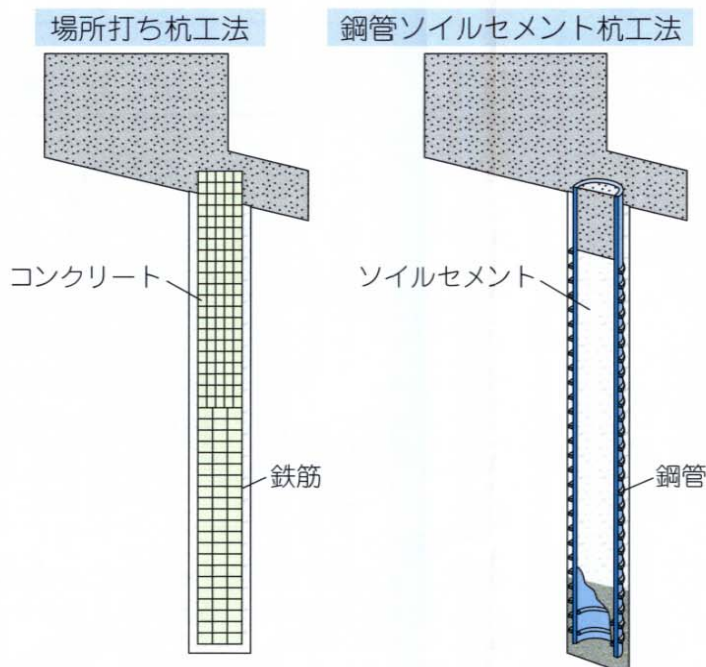
*ソイルセメントとは：土にセメントミルクを混ぜて固化させたものです。

** 特 徴 **

- 先端に羽根が付いた機械で地盤の土とセメントミルクを混ぜ合わせながら、鋼管を回転させて沈め、杭をつくっていきます。この方法は土を掘り出す必要が無いので、排出土量を最小限に止めることができます。
- 場所打ち杭（リバース工法）に比べて支える力が強いので、杭の本数が少なくなります。



土中から見た二つの杭



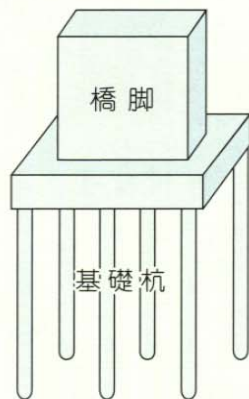
▲施工の様子



▲長浜神社からのぞむ妙見橋周辺

基礎杭とは…？

橋脚と橋台は約10,000tのコンクリートの橋桁を支えます。その橋脚と橋台を支えるのが直径1.1mの基礎杭です。基礎杭は地中の固い地盤の所まで入れるので、長さが37.5～46.5mになります。



従来の工法は…

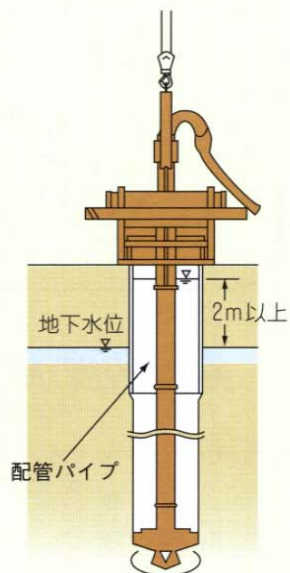
☆場所打ち杭（リバース工法）

～古志橋・崎屋橋の場合～

掘削する穴の中の水位を地下水位より2m以上高く保ち、水圧で穴の壁が崩れぬよう支えながら掘削し、コンクリートを流し込んで杭をつくる方法です。

掘削した土は、中心部にある配管パイプを通じて、水とともに地上へ排出されます。

鋼管ソイルセメント杭工法に比べて排出土の処分が多くなります。



放水路見てある記

妙見さんの「国引きの松」



〈出雲市西園町〉

ヤツカミズオミズヌノミコト
国引き神話には、八束水臣津野命があちこちの国から土地を切り取り、綱で引っ張りつなぎ合わせて島根半島を造り上げたといわれています。

妙見橋西側の妙見山には長浜神社があり、地元からは「妙見さん」と親しまれています。その長浜神社境内の一角には直径3mに及ぶ「国引きの松」があり、その綱を固定するために植えられたものと伝えられています。

受賞作品



松江市立津田小学校
4年 永瀬由貴



松江市立津田小学校
4年 落合桂祐



大社町立大社中学校
3年 手銭聡子



松江市立津田小学校
4年 重村夏子



大社町立大社中学校
3年 金築朋子



多伎町立多伎中学校
2年 柳楽里紗

ふれあい放水路

通信

河川愛護月間

ポスター優秀作品表彰

七月の河川愛護月間の行事の一つとして、河川に関するポスターを募集したところ、一八七点の応募がありました。この中から、六名の方の作品が出雲工事事務所長賞に選ばれました。

七月二十一日には事務所長賞の表彰式を行い、その後、放水路工事と宍道湖の清掃船「おろち丸」の見学会を行いました。
放水路工事は、「ふれあいセンター」で放水路の模型や工事を紹介したパネルを見てもらったり、また、現在

開削部で活躍している超大型ダンプやブルドーザに乗ってもらうと、普段見ることのない大きさや迫力にみなさん揃って驚きの表情を浮かべていました。また「おろち丸」では、清掃船がどのような仕組みで宍道湖のゴミを取るのか、実際に船に乗ってもらって見ていただきました。



8/30▶9/5 防災週間



斐伊川放水路の工事実施状況



(平成11年7月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 古志橋床版工事	大福工業(株)	自 H11年7月29日 至 H12年2月20日
斐伊川放水路B谷地 工用道路舗装工事	大林道路(株)	自 H11年7月29日 至 H11年12月10日



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官